

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	広域連携による地域課題等の研究・要望活動事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）		主管課	企画政策課			
施策	6-3	地方分権・広域行政への取組		主管課長	須郷 和彦			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山市を含む広域（東葛6市ほか）における行政課題	意図	解消又は軽減化される。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 柏市、野田市、松戸市、我孫子市、鎌ヶ谷市、流山市で構成する東葛広域行政連絡協議会において、広域に及ぶ地方自治全般に関する課題を調査研究し、解決に向けて研修会を実施する。 ・ 同協議会の構成市で共通の陳情、要望を国や県に提出する。 			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昭和41年に東葛広域行政連絡協議会が設立。 ・ 平成18年5月から「政令指定都市問題研究会」での調査研究を行った。平成20年11月から各市から提出された課題を具体的に検討している。 ・ 平成21年から取り組んでいる柏市と我孫子市の3市による連携では、みどり園、ウイングホール、住民票共同発行事務の3事業他、平成22年度から3事業を追加し調査研究している。 			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	広域連携が効果的に図られている事業数	8	8	8	事業	〃
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・ 東葛広域行政連絡協議会の幹事会を3回開催し、事業に関する具体的検討、各市共通の課題に関する意見交換を行った。 ・ 行政懇談会（7月）にて本市から2点（「TXの東京駅延伸について」、「TX沿線整備事業の早期完成について」）を要望した。 ・ 企画部門中堅職員検討会を4回開催し、「公共施設の相互利用」をテーマに各市の保有施設の類型及び稼働率等の現状分析、相互利用の効果やメリット・デメリット、対象施設の選定条件等を整理した。埼玉県川越都市圏まちづくり協議会を視察（10月）
事務事業の総コスト(a=b+c)	3,012,000	2,746,000	4,027,200	
事業費(b)(円)				
うち一般財源				
職員給与費(c)(円)				
人役・職員(人)	0.40	0.40	0.60	
人役・再任用(人)				
人役・臨職(人)				
人役・嘱託(人)				
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）				
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）				

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	B 削減の余地がややある	
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	広域で取り組むことで効果的な案件が生じた場合は、東葛広域行政連絡協議会で検討する。	③取組の課題	特になし
②今年度(H29)に実施した取組	企画部門中堅職員検討会にて、「公共施設の相互利用」の可能性について検討を始めた。	④今後(H30以降)の改善計画	